

立憲民主党衆議院東京16区総支部長／弁護士

柴田かつゆき



誰もが『誇り』を持てる国に



「自分は生きている価値がない人間なんです。」

弁護士であった私の、ある依頼者の口癖でした。

精神障害が治らず、お金もなく、友人や家族にも見放され、自殺未遂と犯罪を繰り返す人生。

もし私がこの人の境遇になったら、どういう気持ちになるだろうか、どうすればこの人が自分にも生きている価値があると感じられるだろうか…

誰でも長い人生の中では、障害・病気・事故・貧困・孤独など、一人の力では乗り越えられないトラブルに出会うことがあります。そんな時にも自己責任で片付けたり、家族に負担を押しついたりするのではなく社会で支えて、誰もが自分の価値を感じ、自分らしく明るく生きていける国を作りたいという思いから政治を志しました。

すべての人が自分には価値があるという自分への『誇り』、そして自分が生きる場所がこの国で良かったという日本への『誇り』を持てる社会を作るために全力を尽くします。

柴田かつゆきプロフィール

1968年生まれ、開成高校・東京大学法学部卒業
弁護士（～2022年 森・濱田松本法律事務所パートナー）
元 司法研修所教官（刑事弁護）、
第二東京弁護士会副会長
175cm 80kg

家族 妻（薬剤師）

好きなこと 大東流合気武術（初伝初段）、柔道（3段）、
ゴルフ、何かを読むこと（マンガ含む）

座右の銘 不貪不瞋不痴（みんなのために、明るく、頑張る）、
実力も運のうち

柴田かつゆきの政策



社会保障＝最強の経済政策

「衣食住・医療・介護・教育」を全ての人に保障することは国の基礎です。ベーシックサービスの保障によってみんなが安心して、子どもを産み育て、リスクを冒して挑戦し、老後の心配なくお金を使えることが、経済成長にとってもプラスになることは、「高負担・高福祉」国家が1人あたりGDPランキングの上位を占めている事実からも実証されています。社会保障の充実を決して日本経済の足かせではなく、むしろ「最強の経済政策」と捉えるべきです。

ワーキングプアをなくす

コストを削って利益を上げることは企業としては当然です。しかしこの30年間、企業が人件費と外注費の削減に注力したことが、働く人の貧困化による消費減退や少子化を招き、日本経済をダメにしてきました。最低賃金引き上げ・非正規差別の解消・労働組合の強化・下請事業者への買い叩き規制等によって、**人件費と外注費の削減に歯止め**を掛け、企業が生産性の上昇に注力する環境を作り、ワーキングプアをなくしていく必要があります。

差別はダメ! ゼッタイ!!

差別ほど人の『誇り』を傷つけるものはありません。差別は人の心からエネルギーを奪い、パフォーマンスを低下させ、国力の低下にもつながります。差別をなくして、**誰もが自分の個性を存分に発揮**できるようにすることが、強い国を作ることになるのです。誰にも無意識の偏見があり社会から差別をなくすことは簡単ではありませんが、だからこそ「差別は絶対ダメ」であることを何度でも確認し、差別を排する努力を続けなければなりません。



不正、隠蔽、忖度にノー!

政策を少数のエリートだけではなく、みんなで議論して決めるのが民主主義です。その良さを発揮するためには、必要な情報が共有され、みんなが自分の考えを自由に述べられ、公正なプロセスを経て政策が決められることが必要です。公文書管理や情報公開制度を整備し、文書を**隠蔽する官僚やウソをつく政治家は辞めさせる**、忖度なき報道・表現の自由を保障する、権力の私物化を排する等により「真の民主主義」の基盤を作る必要があります。

戦争は絶対回避する

現政権が進めている防衛費倍増と敵基地攻撃能力の保有は、日本周辺の軍事的緊張を高め、戦争の危険性を増大させるものです。狭い国土に多くの人口と原発を抱えていること、エネルギー・食料自給率の極端な低さ等を考えれば、今の日本にとって戦争に巻き込まれることは第二次世界大戦以上の破滅的結果になることは明らかです。「戦争は絶対回避する」ことを最優先に、**米中間の緊張を緩和する「平和国家日本」**らしい外交を展開すべきです。



ご支援のお願い

- ① ポスター掲示
- ② 友人・知人のご紹介
- ③ ご寄付
- ④ チラシの配布
- ⑤ 街頭演説応援
- ⑥ 事務所での軽作業
- ⑦ その他なんでも

なんでも
相談

何かお困りのことなどありましたら柴田かつゆきになんでもご遠慮なくご相談ください。

なんでも
トーク

政治・法律の話でも、日々の生活の話でも、柴田かつゆきと語り合しましょう。どこにでも伺います(ビデオ面談も可)。

お気軽に下記事務所までご連絡ください!

事務所

〒134-0091 東京都江戸川区船堀1-4-10 第2乙女屋マンション604
電話:050-8886-1651 FAX:050-3488-7290
e-Mail:office.kshibata@gmail.com

@cdp_shibata

